

令和6年3月7日
(資料提供)

(事務担当)

所属名：農林総合研究センター 農業試験場
総合研究部 病虫害防除室
直通：257-6972

令和5年度病虫害発生予報第8号について

今後発生が予想される水稻、麦類、果樹、野菜の病虫害の発生量や防除上の注意事項について掲載します。

- 1 予報期間 3月上旬～4月中旬
- 2 予報内容

(1) 水稻

- ・**苗立枯病（ピシウム菌）、ばか苗病、もみ枯れ細菌病（苗腐敗症）、褐条病、苗立枯細菌病**の発生は**やや多**と予想される。種子や育苗資材の消毒と播種時の防除を徹底する。なお、育苗にため池や河川水を利用する場合は、苗立枯細菌病の発生に留意する。

(2) 麦類

- ・**オオムギうどんこ病**の発生は、**やや多**と予想される。発生が認められたほ場では、随時防除を実施する

(3) 果樹

- ・**ナシ黒星病**の発生は、**多**と予想される。一次感染期である発芽後～5月下旬までの防除を徹底する。
- ・**カキ炭疽病**の発生は、**多**と予想される。罹病枝は発生源となるので直ちに切り、ほ場から除去する。休眠期の防除を徹底する。

(4) 野菜・花き

- ・**タマネギべと病**の発生は、**やや多**と予想される。早生種の発病に注意し、初期の防除を徹底する。
- ・**ハダニ類**の発生は**やや多**と予想される。抵抗性の発達を防止するため、同一系統の薬剤を連用しない。
- ・**アブラムシ類**の発生は**多**と予想される。抵抗性の発達を防止するため、同一系統の薬剤を連用しない。

※病虫害防除の実施に当たっては、最新の農薬使用基準を確認し、遵守する。